

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回吉川市産業振興会議
開 催 日 時	令和5年8月8日(火) 午前10時00分から 午前11時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所202会議室
出席委員(者)氏名	【産業振興会議委員】 近藤 旭、飯箸 幸弘、石井 和也、西山 亜弥、妹尾 建二、附 田 健志、伊藤 健、塩入 英明、井上 義久、河野 一晃 小林 千重(産業振興部長)
欠席委員(者)氏名	中村 新一、道垣内 壮史、吉川 真由、
担当課職員職氏名	産業振興部 商工課 課長 染谷 憲市 商工課 消費労政係長 金子 和枝 商工課 商工観光係長 東原 拓哉
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 今後に向けた事業展開等について 情報提供 (1) 地方創生臨時交付金について (2) 産業フェア、全国なまずサミット2023inよしかわについて (3) ふるさと納税について (4) 人材確保に向けた取組みについて 4. 閉会 [公開・非公開] 公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	—
傍聴者の数	2人
会議資料の名称	1. 次第 2. 資料1 地方創生臨時交付金について 3. 資料2 産業フェア、全国なまずサミット2023inよしかわ について 4. 資料3 ふるさと納税について 5. 資料4 人材確保に向けた取組みについて
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	伊藤 健、塩入 英明

その他の必要事項	
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	1. 開会
市長	<p>2. 市長あいさつ</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりいただき感謝する。昨年のコロナ対応をはじめとした産業振興計画に基づく取り組みについてご報告させていただき、今後の取組みに関する様々な意見交換を行いたいので忌憚無きご意見をお願いしたい。</p>
会長	<p>会長あいさつ</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応に関し、事業者への支援に様々な取り組んでいただいたと考えている。委員の皆様には、今後に向けた取組みについて活発な議論をお願いしたい。</p>
	3. 議事
	今後に向けた事業展開等について
	情報提供
	(1) 地方創生臨時交付金について
事務局	事務局より資料1を用いて説明
市長	<p>事務局からは令和4年度の事業者向け支援について説明がなされたが、市では、「命を守る」という方針のもと、国の交付金を活用しワクチン対応を迅速に進め、その後に、市内経済を後押ししていくということで、事業者の皆さんのご意見を伺いながら、消費喚起事業等を実施したものである。また、単なるバラマキではなく事業者が飛躍できるよう後押しする考えのもと事業者連携発展支援補助金の創設、さらに、原油等価格高騰に関しては、その影響が大きいと判断した中で行ったものであり、状況に応じた支援策が展開できたものと考えている。委員の皆様も、様々な支援策を活用いただいたと思うので、まずは、事業者連携発展支援補助金について意見交換を行いたい。</p>
事務局 委員	<p>事業者連携発展支援補助金の活用について事務局より一部紹介</p> <p>弊社では、本補助金を活用し、市内事業者で連携イベント開催に係る費用を支援いただいた。大切なことは、今後の自走と継続であると考えており、引き続き市内事業者と連携して取り組んでいきたいと考えている。</p>
市長 委員	<p>何か、市への要望等はあるか。</p> <p>本補助金の活用については、特に職員が親身になって一緒に考えていただいたと感じている。弊社の取組みを理解いただき、更な</p>

<p>部長</p>	<p>る提案やフォローアップなど、一緒にスキームを考えていただき、そのサポートがありがたかった。</p> <p>連携ということで、本補助金の活用についてセミナーを開催するとともに、相談があれば丁寧な対応に努めてきた。都内で同様の主旨の補助金の実施があり、確認したところ、件数は当市より少なかったことから、多くの事業者にご利用いただけたものと感じている。</p>
<p>委員</p>	<p>農業者同士の連携として本補助金を活用し、イベントの開催と情報発信として動画作成を実施した。現在も継続して取り組んでおり、良い支援を頂けたものと感じている。動画に関しても、YouTubeで公開しているが、新たな情報発信に繋がっている。</p>
<p>委員</p>	<p>私は、農業経営拡大・発展等支援補助金を活用し、新たな農業機械を購入させていただき農作業の効率化に繋がった。また、第1弾の原油等価格高騰支援金については、対象経費の比較が分かりにくいという印象であったが、現在の第2弾については、その部分が無く分かりやすい印象である。</p>
<p>部長</p>	<p>この部分は、第1弾の申請から簡素化したことにより、申請しやすくなっている。</p>
<p>市長</p>	<p>消費喚起事業についても話を伺いたい。</p>
<p>委員</p>	<p>お客さんの話では、普段行かないお店にも足を運ぶきっかけとなったとのことで、とても良かったと感じている。</p>
<p>市長</p>	<p>全体を通じて、また他の自治体の支援、国や県の支援なども含めて意見を求めたい。</p>
<p>委員</p>	<p>弊社は、コロナの影響は大きく受けていないが、電気代が影響を受けている。少し話が逸れてしまうが、先日の大雨の際に、小松川の工業団地内では浸水被害が出ている為、市側で対策はできないものか。</p>
<p>市長</p>	<p>先日の浸水は、極めて多い降水量となったことが原因の一つだが、通常市内に降った雨は、中川に排水するのだが、国のポンプ5台のうち3台が故障しており排水が間に合わず、中川の水位が下がらずに、小松川工業団地、吉川駅前、須賀・榎戸地区に大きな被害が発生した。市としては、土嚢ステーションを各地域に設置し、市民、事業者を活用を呼び掛けている。大きなインフラの整備には時間がかかるが、特に駅前の冠水状況が深刻であると考えており、まずはここから優先して考えていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>自宅周辺は、水田と用水路の境が分からない状態で、見たことのない光景が広がっていた。駅前もかなり浸水し、市からも冠水情報が発信されていた。</p>
<p>市長</p>	<p>現在、早めに道路の通行規制が行えるよう資機材の調達を進めている。</p>

委員	自宅周辺は、水田が多いため影響は無かったが、消防団に入っているため器具庫に待機している状況が続いた。
市長	その他、全体を通じた意見や国、県等の支援策も含めて何かあるか。
委員	弊社は、コロナの直接的な影響は無かったが間接的に影響を受けた状況である。具体的には、弊社がシステム開発であるため、旅行業界等の業績が下がればシステム開発が行われず、結果として影響を受け減益となる。しかし、国の支援等は、前年対比等を基準にしていることが多く、新たな人材を採用し全体の売上が増加しても、一人当たりに換算すると減少しているような企業には該当しないため、経営的には厳しい状況となっている。また、新規事業を始めようと思っても、そのシステムを自社開発できるので、外注する場合、支援を受けることができない。市内事業者も、様々な支援が実態と合っていない状況とはなっていないのか。その部分のケアがあれば良いのではないかと感じる。
市長	頂いた意見のように、改善点等がないか確認したい。また、新たな挑戦という視点で委員より意見を伺いたい。
委員	弊社は建設業となるが、国の事業再構築補助金を活用し千葉県で愛犬と一緒に楽しめるキャンプ場をオープンさせた。滑り出しは順調であるが、補助金の申請が、厳しくなっている印象がある。また、補助金が交付されるかわからない状況での事業展開は、不安な部分もあった。
会長	国の補助金では、これまでも先に支払いを行い、補助金が後から交付されるという形が多いと感じる。
委員	弊社では一番の影響は電気代の高騰である。これまでに、省エネ化に向けた投資を様々行ったが、今回の高騰により、元々の電気代と同様になってしまったと感じる。なお、材料代については落ち着いてきており、ある程度の価格転嫁が行えている。
会長	弊社の電気代は、全体の3%程度であったが、現在は6%を占めている。吉川市は20万円の支援となっているが、他市では100万円というところもあった。また、先ほど土囊の話があったが、その土をどうやって用意すれば良いのかわからない事業者は多いのではないかと感じる。
市長	当市では、あらかじめ、職員が袋に土を詰めて、土囊ステーションに積んであり、必要な方が持っていけるようにしている。
会長	土囊の土について市内事業者で連携してできないものか。
市長	土囊の砂は購入しているものであるが、何か企業と連携できるかは確認する。また、先ほど支援金額について話があったが、国の交付金は、人口規模に応じて算定されており、人口規模の大きい市と同様の支援金にすることは難しいところである。その他、価格高

事務局	<p>騰に関してはどうか。</p> <p>現在、第2弾の燃料高騰に関する支援金については、すでに100件以上の申請を受けている。</p>
委員	<p>市内事業者に現況を伺ったところ、今後に向けた期待値について、現在の状況が思ったよりは、良くなっていないという感触であり、増収ではあるが減益というところが多い。また、人材確保や原材料の価格転嫁はできても、電気代を転嫁させることが難しく経営を圧迫させているという声も聞かれる。さらに、ゼロゼロ融資に関して3年が経過し返済が始まるが、返済する意向あるいは相談されたのが全体の10%程であり、想定していたよりは少ないと感じている。</p>
市長	<p>引き続き電気代の動きに注視するとともに、国や関係機関の支援等についても情報収集に努めていきたい。また、人材に関する部分についても意見があったので、その部分についても意見交換を行いたい。</p>
事務局	<p>(4) 人材確保に向けた取組みについて</p> <p>事務局より資料4を用いて説明</p>
市長	<p>合同就職面接会は、参加事業者が増えてきたと感じている。参加されている事業者より意見を伺いたい。</p>
委員	<p>弊社は、障がいの有無に関わらず働きやすい職場環境を進めている。障がい者雇用に力を入れている理由は、他の委員からもあったように人材不足が大きな要因である。この面接会を通じて入社した方が、現在も戦力として活躍頂いている。</p>
市長	<p>委員には、障がい者の地域での生活を考える検討会議にも出席いただいている。その中では、障がい者の地元での活躍について様々意見交換が行われている。先日の会議では、支援団体から、「給付のみではなく、障がいのある方の社会進出を支援することで、当事者が働いて賃金を得て、活躍しながら地域で生活していく方向性で進めていかなければならない時代になっている」などの意見をいただいている。そのような意味でも、皆様には、積極的な障がい者雇用を検討いただくことが重要と感じる。本事業は、市内に住んでいる人を市内の事業者に繋げる大きな意味のある取組みであると考えており、会場も華やかにしたいと考えている。高校生のバスツアーについてもようやく形になりつつあり、ぜひ、委員の皆様もバスツアーの受け入れ企業として参加いただきたい。</p>
委員	<p>合同就職面接会にもこれだけ多くの事業者が参加しているので、市内事業者のPRという点で、市が以前に作成した、「ものづくり企業ガイドブック」刷新について提案したい。作製から6年ほど経過しているので、検討してはどうか。</p>

市 長	市では、職員が積極的に市内事業者の訪問を行い、経営状況の確認やふるさと納税返礼品に関する提案等を行っている。市内事業者の発信ツールとして前向きに考えていきたい。また、改めて、作製にあたり委員の皆様にご意見を伺いたいと考えている。
委 員	合同就職面接会に関連して、障がい者の賃金は、企業側に委ねられているものなのか確認したい。
市 長	障がい者雇用に関しては、A型、B型、一般と分かれており、B型に関しては、働ける場所の確保という形、A型は一般に近い形であるが支援団体が運営する等、国の支援が入った形となっている。一般については、一般の方と同様になるが、働く時間や日数等について、企業はそれぞれ柔軟な対応をされていると認識している。
委 員	併せて、大卒の求人に関しては、賃金の高騰により企業の取り合いが続いていると感じる。特に埼玉、千葉、神奈川は他の地方と比べてより難しい場所と感じる。その地域の住民は、東京に通えてしまうため、都内と県内での賃金に数万円の違いが生じていれば都内に流出してしまう現象が起きてしまうと感じる。参加企業では、どの程度の給与水準で募集をかけているのか。
市 長	参加企業により異なると感じる。
委 員	都内と大きく異なれば、やはり労働者は流出してしまうと感じる。何かその部分に支援は必要ないのか。
市 長	事例として、保育士の公定価格についても同様のことが言える。民間の保育園から市側で支援できないかという話があるが、保育士だけの話ではないと考えており、そこは民間側でお願いし、市は弱い立場の方を支えていくという形になる。また、大学生等に対し、賃金ではない部分のアピールに関しては、市がバックアップすることは可能と考える。
委 員	給与形態だけではなく、他の部分での価値をどのようにアピールできるかは重要と感じる。
市 長	市では、今後の人口減少を想定し、人口の獲得が難しい状況の中で、流出を防ぐ為にも中学生、高校生の時により吉川市を知ってもらうことで、市外に進学や就職をしたとしても、最終的には、市内に定住できる形を目指していきたいと考えている。
委 員	弊社では、他自治体より様々な企業誘致の情報が届いている。人口の流出を防ぎ、雇用を創出していく考えの一つと考えるが、何かそういった取組みも良いのではと感じる。
市 長	研究していきたいと感じる。また、市民が経営されている会社が市外にあっても、その会社に市民が就職することはとても良いこととも感じる。働く場所が市外というだけで、住んでいるところが吉川であれば良いのではないか。この件に関しては、引き続き意見交換していきたい。その他の意見はあるか。

委員	障がい者雇用に関しては、国からも一定期間の支援があるため、引き続き積極的に戦力としての活用を進めていきたい。
委員	小学生の頃から、もっと市内産業に触れていくことが大切と考えるが如何か。
市長	中学生になると、職場体験が各学校で開催されている。今回、新たな事業として高校生の見学バスツアーの開催となる。
委員	選択肢を拡げてあげることが大切と感じる。建設業は特に人材不足が深刻であり、何か手を打たないと国として成り立たないという危機感がある。
委員	子が小学生の頃に、自分たちで見学する企業を探し、レポートを提出するといった取組みがあったと認識している。
市長 会長	自分で調べてというところにとっても興味がある。確認したい。 自身の小学生の時も類似事業があったが、一つの事業者に集中してしまった印象があったので工夫が必要と感じる。高校生の事業所見学バスツアーに関しては、どの程度の規模を想定しているのか。弊社では、埼玉県主催の高校生を対象とする事業所見学イベントに応募したが、実際に来社したのが4名であった。カリキュラムの一環として参加するなどであれば、そのようなことは無いと思うが、集める側も大変と感じる。就職面接会では、企業がこれだけ集まっているということは、企業側の危機感の表れであると感じる。参加者数はどの程度あったのか。
事務局	昨年度の参加企業数は、16社で参加者は約40名、市内のみならず、市外、県外の方もおり年齢も様々であった。今年は、参加企業数が増加している。また、事業所見学バスツアーに関しては、現在、市内事業者アンケート調査により、10社以上の参加協力を確認している。なお、美南高校のみならず、市外の技術高校にも直接出向き話をしている。
事務局 部長	(2) 産業フェア、全国なまずサミット2023inよしかわについて 事務局より資料2を用いて説明 今回の産業フェアは事業者の出展に加え、子ども達が参加事業者の仕事の一部を体験いただくイメージを想定している。
委員 市長	例えば、子ども向けにミニ重機の操作体験等はどうか。 とても良いと感じるのでぜひご参加いただきたい。
事務局 委員	(3) ふるさと納税について 事務局より資料3を用いて説明 ふるさと納税の需要を見込んで制作した商品が、コロナや原料価格の高騰を受け、うまくいかない部分となっている。店舗の方は、5月頃より予約が入り始めたが、人材の確保という点で苦戦を

<p>市長</p> <p>会長</p>	<p>強いられている状況である。同業種で、都内が時給1,500円を出されてしまうと、近隣の埼玉県では苦しい状況であり、求人として1回10万円ほどかけても、なかなか人材が集まらない状況となっている。</p> <p>子どもたちへの教育という長期の事業展開と、即戦力としての人材確保という点をバランスよく進められれば良いと感じる。</p> <p>限られた時間の中で、有意義な意見交換ができたものと感じている。本日の意見を通じて市の産業振興に繋がればと考えている。</p> <p>4. 閉会</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和5年8月31日</p> <p>署名委員 伊藤 健（自署） 署名委員 塩入 英明（自署）</p>	